

◆ **ドラゴンキーパー 最後の宮廷竜**

ファンタジー

キャロル・ウィルキンソン作 もきかずこ訳 金の星社 2006.9 テコJ933-ウイ 1109015706
幼い頃奴隷として売られ自分の名前も知らない少女は、都を遠く離れた黄陵宮のかたすみで、龍の世話をし
て暮らしていた。本当は龍守り(ドラゴンキーパー)ランの仕事だったのに、彼は何もしなかった。ある時、突然
皇帝がやってきて龍を龍狩りに売るといふ。なんとか龍を助けたいと思う彼女に、突然龍の言葉がひびいた。

◆ **獣の奏者 1闘蛇編 2王獣編**

ファンタジー

上橋菜穂子作 講談社 2006.11 テコJ913-ウエ 1109074251・1109074260
すぐれた獣ノ芸術師として闘蛇の世話をまかされていたエリンの母は、一度に死んだ闘蛇の責任をとって、処
刑される事になる。母を思う一心で闘蛇のいる沼に飛び込んだエリンを救うため、彼女の母は掟を破る。エリン
が「これから大罪を犯すけれど」と言った母の言葉の本当の意味を知るのはずっと先のことだった。

走る、投げる、泳ぐ…自分もやってみたくなる本！

昨年スポーツ小説が大豊作。おすすめ本がいっぱいです。ひたすら走り(など)に打ち込む主人公たちは
とてもつらそうだけど楽しそうで、運動嫌いのわたしでもやってみたくなりました。ぜひ読んでみて！

《陸上》一瞬の風になれ1-3 佐藤多佳子著 講談社 2006.8-10 テコ913.6-サ 1108994061・1109016688

《駅伝》風が強く吹いている 三浦しをん著 新潮社 2006.9 テコ913.6-ミウ 1109016211 ・1109045106

《野球》イレギュラー 三羽省吾著 角川書店 2006.5 テコ913.6-ミツ 1108928182

《トライアスロン》空をつかむまで 関口尚著 集英社 2006.4 テコ913.6-セキ 1108921270 etc...

愛知県図書館3階 ティーンズコーナー TEL:052-212-2323
開館日:火～日 午前10時～午後8時(土日祝は午後6時まで)

愛知県図書館3階ティーンズコーナー

YA・BOOKS

No.16 (2007.3)

～ 最近入った本の中から ～

◆ **少女七竈と七人の可愛そうな大人**

母娘・初恋

桜庭一樹著 角川書店 2006.6 テコ913.6-サク 1109034363
七竈(ななかまど)は田舎町で祖父と二人暮らし。母は次々と恋人を替えほとんど帰ってこない。年々美しくなる
自身の容貌と母の所業により、七竈は衆目を集めやすく、肩身の狭い思いをしている。唯一の友である幼なじ
みの少年・雪風と鉄道模型遊びにふける日々だが、ふたりの顔は成長するごとに似かよってきて…。

◆ **タイムマシン**

仲間と共同作業

アニール・セルカン著 日経BP社 2006.11 テコJ913-アニ 1109071920
トルコ出身のドイツ人ケン(ケム)は15歳。ちょっとしたいたづらがもとで7年間在籍したスイスの学校を退学になっ
てしまった。家に帰った彼は、ある時タイムマシンを作ろうと思い立つ。いっしょに学校を退学になった13人の仲間
と共に。彼の呼びかけに応じて、アメリカ・トルコ・フィンランド、世界の各地から友人達が集った。

◆ アラスカを追いかけて

「ラビリンス」って？

ジョン・グリーン著 伊達淳訳 白水社 2006.11 テコ 933.7-クリ 1109072266
フロリダに住む親から遠く離れてパッジは、アラスカと寄宿学校で知り合った。アラスカの気まぐれの原因が幼い時の母親の死にあるとわかってすぐ、彼女は自動車事故でこの世を去った。なぜ泥酔して車を運転しようとする彼女を止めなかったのか。宗教の授業で問われる「死」は、もう抽象的な問いかけではなくなった。

◆ 一億百万光年先に住むウサギ

家族

那須田淳作 理論社 2006.9 テコ 913.6-ナス 1109013640
中学3年の翔太は、便利屋サスケ堂でアルバイトをしている。バイトの派遣先、元大学教授の安立先生は一人暮らし。桜の古木を介して女子中学生と手紙のやりとりをしている。ドイツの恋樹(こいのき)の話がきっかけだ。最後まで手紙を出し続けていたのはサスケ堂の娘ケイ。彼女は実の父親は誰かと悩んでいたのだ。

◆ カミュ『よそのもの』きみの友だち (理想の教室)

フランス文学講義

野崎歓著 みすず書房 2006.8 テコ 953.7-ナ 1108979118
『異邦人』から半世紀。人気の仏文学者による新訳と解釈で、新しいムルソーに出会ってみては？ シリーズ「理想の教室」は、様々な分野の魅力あるテキストを第一線の専門家が講義形式でわかりやすく示し、こんな授業が聞きたかったという欲求を満たしてくれる。自分の世界を広げ、深められる一冊を探してみよう。

◆ サルが食いかけてエサを捨てる理由 (ちくまプリマー新書)

動物と人間と

野村潤一郎著 筑摩書房 2006.5 テコ 468-ノム 1108905508
地球に住む生き物は、すべて精密機器の歯車のように関わり合いながら生きていて、全体のバランスが取れている。サルが食いかけてエサを捨てるのも、ちゃんと理由があってしていること。人間社会だけの狭い枠にこもらないで、いろんな生命や自然事象に目を向けてみよう。

◆ ビースト

おかしくてホラー

アリー・ケネン著 羽地和世訳 早川書房 2006.7 テコ J933-ケネ 1108960500
アル中でホームレスの父と精神を病む母のため、里親に養われている17才のスティーン・ヴンの状況はかなり悲惨。父からのとんだプレゼント(?)のため、働いて得たお金はすべて豚肉につきこむ羽目に陥っている。周囲に信頼できる人は無かった一人、彼はどうやってこの大きくて凶暴な生きものの始末をつけるのだろうか。

◆ ウルフィーからの手紙

ほくにできること

パティ・シャーロック作 滝沢岩雄訳 評論社 2006.11 テコ J933-シヤ 1109077905
ベトナム戦争真っ只中のアメリカが舞台。マークは中学生。人気者だった兄さんは、志願してベトナムに行ってしまった。マークは兄さんへの対抗心から、ジャーマンシェパードの雑種であるウルフィーを軍用犬に差し出してしまふ。後悔したマークは、ウルフィーを取り戻すべく、議員や軍、マスコミに宛てて手紙を書きはじめる。

◆ 銃声のやんだ朝に

極限状況での友情

ジェイムズ・リオードン作 原田勝訳 徳間書店 2006.11 テコ J933-リオ 1109065000
第一次世界大戦がはじまる頃のイギリス。17歳の駆け出しサッカー選手であるジャックは、軽い気持ちで友人と従軍したが、実際の戦場は想像とはまったく違う過酷なものだった。一方で将校たちは祖国にいる時と変わらない優雅な生活を送っており、ジャックは怒りを覚える。そんな中クリスマスの日、前線で起きた出来事とは。

◆ ほくたちの誓

パレスチナの今

エリザベス・レアード作 石谷尚子訳 評論社 2006.10 テコ J933-レア 1109047020
現代のイスラエル軍占領下、パレスチナに暮らす少年カリム。サッカーやPCゲームに夢中なところは日本の少年とかわらない。しかし、彼らは外出禁止令が解除にならなければ自由に外に出る事もできない。食べ物も薬さえもままならない中、彼らがサッカーをするために作った広場にもイスラエルの戦車がやってきた。